

# 今井正監督特集

今井正監督(1912年生まれ)は、1935年に東京帝国大学を中退後、映画監督を志して、1934年にトーキー映画製作を目指して京都に設立されたJ・Oスタジオに入社した。J・Oは1937年に東宝映画に合併されるが、彼はその年早くも監督昇進を果たすというスピード出世ぶりであった。第1作の「沼津兵学校」は製作途中のアクシデントで遅れたものの、1939年には完成公開された。以後、毎年監督作品に恵まれ、戦前だけでも9作品を発表した。今次大戦後、第1作の「民衆の敵」で注目された後、4作目の「青い山脈」が絶讃を浴び、興行的にも空前の成功を納めて、名実共に戦後日本映画の代表的監督となった。また、独立プロに転じて発表した次作の「どっこい生きてる」や「山びこ学校」の評価と成功により、戦後の左翼独立プロ運動の端緒を作り、その旗頭として意欲的な作品を次々に発表した。「ここに泉あり」「真昼の暗黒」「米」「純愛物語」「夜の鼓」「キクとイサム」といったこの時期の作品は、毎年ベスト・テン行事で上位を占め、(社会派作家)の第1人者として、また、戦後日本映画の巨匠として、黒沢明や木下恵介と共にその地位は揺るぎないものとなった。ケレン味を排したリアリズムによる作風は、絶えず社会問題を正視した主題を誠実に表現し、鋭い問題提起をすると共に人間讃歌の深い感動を観客に与えた。

フィルムセンターでは、今井監督のおよそ45年に及ぶ映画監督生活の中で、処女作から近年の「ひめゆりの塔」までの45作品の中から、代表的な26作品を今井監督研究の一端になり得べく今回の特集を開催することにいたしました。広く映画を愛好される皆様方の御鑑賞をお勧めいたします。

1983年11月 フィルムセンター

- 開館は午後1時で先着順にて定員239名(座席数204)に達し次第締め切ります。1回目の上映が締め切りの場合、上映後に全館入れ替えとなります。
- 平日は午後3時と6時15分の2回上映、**土曜日は午後1時30分より1回のみ上映いたします。**
- 日曜・祝日および12月10日(土)、1月14日(土)は休館です。
- 12月3日(土)、1月7日(土)は、午後4時より〈短篇・文化・記録映画特集〉を上映いたします(詳細は当該チラシ参照)。

一般250円・学生140円・小人100円

日	題名	製作年	出演者
12月2日(金)	沼津兵学校(81分)	東宝・1939年	黒川弥太郎、花井蘭子、丸山定夫、大川平八郎、山根寿子
3日(土)	また逢う日まで(111分)	東宝・1950年	岡田英次、久我美子、滝沢修、杉村春子、河野秋武
5日(月)	民衆の敵(83分)	東宝・1946年	藤田進、花柳小菊、江川宇礼雄、河野糸子、菅井一郎
6日(火)	また逢う日まで(111分)	東宝・1950年	(12月3日と同じ)
7日(水)	どっこい生きてる(105分)	新進映画座・1951年	河原崎長十郎、河原崎しづ江、中村甕右衛門、木村功
8日(木)	山びこ学校(105分)	八木プロ・1952年	木村功、岡田英次、杉葉子、滝沢修、北林谷栄
9日(金)	ひめゆりの塔(130分) (130)	東映・1953年	津島恵子、香川京子、岡田英次、藤田進、原保美
13日(火)	にごりえ(130分)	新世紀映画座・1953年	丹阿弥谷津子、芥川比呂志、久我美子、淡島千景、杉村春子
14日(水)	ここに泉あり(150分)	中央映画・1955年	岡田英次、岸恵子、小林桂樹、加東大介、三井弘次
15日(木)	真昼の暗黒(122分)	現代プロ・1956年	草薙幸二郎、左幸子、内藤武敏、松山照夫、北林谷栄
16日(金)	米(118分)	東映・1957年	望月優子、江原真二郎、中村雅子、木村功、中原ひとみ
17日(土)	青い山脈・前後篇(182分)	藤本プロ・1949年	原節子、池部良、杉葉子、木暮実千代、竜崎一郎、若山セツ子
19日(月)	純愛物語(87分)	東映・1957年	江原真二郎、中原ひとみ、楠田薫、岡田英次、木村功、加藤嘉
20日(火)	夜の鼓(95分)	現代プロ・1958年	三国連太郎、有馬稲子、森雅之、日高澄子、雪代敬子、奈良岡朋子
21日(水)	キクとイサム(117分)	大東映画・1959年	北林谷栄、高橋エミ子、奥の山ジョージ、滝沢修、長岡輝子、岸輝子
22日(木)	あれが港の灯だ(102分)	東映・1961年	江原真二郎、岡本四郎、安田千永子、高津佳男、長谷川祐見子
23日(金)	にっぽんのお姿あちゃん(94分)	M I Iプロ・1962年	北林谷栄、ミヤコ蝶々、飯田蝶子、浦辺粂子、原泉、村瀬幸子
24日(土)	青い山脈・前後篇(182分)	藤本プロ・1949年	(12月17日と同じ)
26日(月)	武士道残酷物語(122分)	東映・1963年	中村錦之助、有馬稲子、森雅之、丘さとみ、岸田今日子、木村功
12月27日(火)より1月5日(木)まで休館			
1月6日(金)	越後つっし親不知(112分)	東映・1964年	佐久間良子、小沢昭一、三国連太郎、北林谷栄、清川虹子
7日(土)	どっこい生きてる(105分)	新進映画座・1951年	(12月7日と同じ)
9日(月)	仇討(103分)	東映・1964年	中村錦之助、丹波哲郎、三田佳子、田村高広、佐々木愛
10日(火)	橋のない川・第一部(127分)	ほるぷ映画・1969年	北林谷栄、長山藍子、伊藤雄之助、小沢昭一、石立鉄男、加藤嘉、南美江
11日(水)	橋のない川・第二部(140分)	〃・1970年	河野秋武、原田大二郎、今福正雄
12日(木)	婉という女(123分)	〃・1971年	岩下志麻、江原真二郎、河原崎長一郎、緒形拳、山本学
13日(金)	海軍特別年少兵(127分)	東宝映画・1972年	地井武男、内藤武敏、山岡久乃、三国連太郎、小川真由美
17日(火)	あにいうと(88分)	〃・1976年	秋吉久美子、草刈正雄、池上季実子、大滝秀治、賀原夏子
18日(水)	子育てごっこ(117分)	月倉舎座・1979年	加藤剛、栗原小巻、牛原千恵、加藤嘉、渡辺美佐子
19日(木)	にごりえ(130分)	新世紀映画座・1953年	(12月13日と同じ)
20日(金)	真昼の暗黒(122分)	現代プロ・1956年	(12月15日と同じ)
21日(土)	ここに泉あり(150分)	中央映画・1955年	(12月14日と同じ)
23日(月)	米(118分)	東映・1957年	(12月16日と同じ)
24日(火)	夜の鼓(95分)	現代プロ・1958年	(12月20日と同じ)
25日(水)	キクとイサム(117分)	大東映画・1959年	(12月21日と同じ)
26日(木)	武士道残酷物語(122分)	東映・1963年	(12月26日と同じ)
27日(金)	越後つっし親不知(112分)	〃・1964年	(1月6日と同じ)
28日(土)	ここに泉あり(150分)	中央映画・1955年	(1月21日と同じ)
30日(月)	婉という女(123分)	ほるぷ映画・1971年	(1月12日と同じ)
31日(火)	あにいうと(88分)	東宝映画・1976年	(1月17日と同じ)